

「情報の扱い方に関する事項」の指導

「情報の扱い方に関する事項」とは？

新学習指導要領の〔知識及び技能〕の中に、言葉の特徴や使い方に関する事項や、我が国の言語文化に関する事項に加えて、「情報の扱い方に関する事項」が新設されました。大きく「情報と情報との関係」と「情報の整理」の二つの系統に分けられ、以下の内容が示されています。

情報の扱い方に関する事項 (平成29年告示 中学校学習指導要領 国語)

【情報と情報との関係】

- 第1学年 ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。
- 第2学年 ●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。
- 第3学年 ●具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。

【情報の整理】

- 第1学年 ●比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。
- 第2学年 ●情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。
- 第3学年 ●情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。



「新しい国語」での「情報の扱い方に関する事項」の扱い

1 「学びを支える言葉の力」で取り立てて学ぶ

裏面上段参照

「新しい国語」には、「話す・聞く」「書く」「読む」学習に共通して必要となる基礎的な力を鍛える教材「学びを支える言葉の力」があります。そのうち「論理的な言葉の力」系統で、「情報の扱い方に関する事項」を取り立てて扱っており、情報と情報との関係の捉え方や情報の整理の仕方に関する知識・技能を、集中して身につけることができます。また、「学びを支える言葉の力」でつけた基礎力は、関連する「話す・聞く」「書く」「読む」学習に生かすことができます。

「学びを支える言葉の力」一覧

「情報の扱い方に関する事項」を扱っている教材

	1年	2年	3年
論理的な言葉の力			
整理する力	分類する・比較する	情報を図や表に整理する	多面的に捉える
分析する力	事実と考えを区別する	論証の説得力を見極める	論理的に読む
議論する力	根拠を挙げて考えを述べる	質問する・反論する	合意を形成する
文学的な言葉の力			
解釈する力	文脈を捉え、伏線に気づく	人物像を捉える	人物どうしの関係に着目する
表現する力	描写や表現技法を用いる	想像を誘うように表現する	素材を生かして表現する
対話的な言葉の力			
伝え合う力	相手の話を受け止め、引き出す	相手の立場を踏まえ、考えを深める	相手や目的に応じて伝える

「情報の扱い方に関する事項」と「学びを支える言葉の力」の各教材との関係

事項の内容	扱っている教材 (下線は中心となる教材)
比較	分類する・比較する／情報を図や表に整理する／多面的に捉える／合意を形成する
分類	分類する・比較する／情報を図や表に整理する／合意を形成する
関係付け	事実と考えを区別する／情報を図や表に整理する／合意を形成する
情報と情報との関係の様々な表し方	情報を図や表に整理する
意見と根拠の関係	事実と考えを区別する／根拠を挙げて考えを述べる／論証の説得力を見極める／質問する・反論する／論理的に読む／合意を形成する
具体と抽象の関係	情報を図や表に整理する／論理的に読む

2 「話す・聞く」「書く」「読む」の中で学ぶ

裏面下段参照

「話す・聞く」「書く」「読む」の各教材でも「情報の扱い方に関する事項」を扱っています。どの教材で扱っているかは、各学年6ページからの領域別教材一覧表で確認できます。「学びを支える言葉の力」で基礎的な知識・技能を習得し、「話す・聞く」「書く」「読む」の言語活動の中で活用していく仕組みになっています。

書くこと		話すこと・聞くこと		1年で学ぶこと
話すこと	書くこと	話すこと	聞くこと	
199	169	148	107	70
193	112	55		

1年p.6～「1年で学ぶこと」(領域別教材一覧表)

